

概要

第9回アグリフードEXPO大阪2016

開催期間: 2016年2月18日(木)~19日(金)(準備のため2月17日(水)に前日入りした)
 開催場所: 大阪ATCホール アジア太平洋トレードセンター内 (大阪市住之江区南港北2-1-10)
 目的: 土佐FBC事業において受講者を支援し、ビジネスチャンスの場を提供する。
 ・FBCブース出展者(3社): (有)齊藤牧場、横山麺業(株)、安藝立志
 ・FBCスタッフ参加者(3名): 沢村特任教授、高田順子教務補佐員、中島悦子特任講師
 (備考)横山麺業(株)・横山氏は2/17展示準備のみ [工場生産対応のため2/18-19不在]
 会場全体への来場者数: 合計 15,490名 [1日目: 8,201名、2日目: 7,289名]

内容

2月17日(水) 展示会準備

土佐FBCブース準備状況



(有)齊藤牧場は、2/18に当日準備のために不在だったが、他の2社は左の写真のように準備を進めた。

展示用のテーブルや旗用のポールがブースに届けられておらず、主催者に急ぎよ調達してもらう必要があった。これについて、高田教務補佐員により対応いただいた。

2月18日(木)~19日(金) 展示会への参加

1、2日目は、以下3点を目的に展示会へ参加した。

(1)土佐FBCブースに出展する受講生の商品アピールを支援、(2)土佐FBC事業説明、(3)他地域の展示視察

(1)土佐FBCブースに出展する受講生の商品アピールを支援



アグリフードEXPOのブースで出展者と集合写真

四国地域のブースは中央入り口付近で、比較的立地が良く、多くの来客があった。(有)齊藤牧場は、自家牧場の「山地酪農牛乳」を試飲でアピールし、独自の酪農方法に注目を集めていた。安藝氏はドレッシングを泡にする技術「あわのもと」を、豆腐やサラダに合わせる提案をし、そのアイデアが興味を集めていた。横山麺業(株)は、「土佐の食堂ラーメン」(ラーメン用の生めん)のパッケージデザインや、鰹だしの「ところてん」が注目を集めた。これらの展示を沢村特任教授、高田教務補佐員、中島特任講師が支援した。



→開会式



→(有)齊藤牧場



→横山麺業(株)
展示風景



→安藝立志氏

[2] 土佐FBCの事業説明

この他、来訪者への土佐FBCの事業も説明した。来訪者は、大阪府立大学、やまぐち産業振興財団、JA兵庫六甲、JAバンク高知信連、(株)モンベル等であった。また、高知大学卒業生数名も出展ブースに来訪頂いた。

[3] 他地域、他ブースの展示視察

・大分県 木村山羊牧場

山羊乳の生産・販売だけではなく、チーズやアイス、石鹸などの山羊乳を使った加工品も製造しており、ペット用にも山羊乳をアピールしていた。

・岡山県 低臭ジャンボにんにく「輝」岡山県勝央有機栽培組合

「にんにくは好きだが臭いが気になる」という女性をターゲットとして開発したとのこと。低臭にんにくを使ったメニューもブースで提供しており(焼きそばなど)、試食してみたが、臭いは弱い、旨味がしっかりあって大変おいしかった。大変興味深い取り組みであると感じた。

・岡山県 石原果樹園

果樹園として生鮮果実の生産に取り組むだけではなく、梨のドライフルーツも加工している。パンフレットやパッケージデザインに高級感があり、印象が良かった。

2月18日(木) 土佐FBC出展者 懇親会

土佐FBC出展者と交流を深めるために懇親会を兼ねて会食をした。各社間の情報交換ができた。